

T4

糖尿病だより

@ Tenma Tounyoubyou Taisaku Team
天満糖尿病対策チーム

糖尿病薬シリーズ⑨ インスリン療法について

図1：糖とインスリンの働き



- 糖はからだのエネルギー源です
- 糖をエネルギーとして使うにはインスリン（鍵）が必要となります 糖尿病情報センターホームページより抜粋

吸収された糖は血液中をただよい、筋肉などの細胞までたどり着いたら、同じく血液中に流れていたインスリンの助けを借りて細胞に取り込まれます。取り込まれた糖は私たちの体が活動するためのエネルギーの源になります。

- 1 型糖尿病ではインスリン療法が不可欠！
- 2 型糖尿病ではインスリン療法導入のタイミングを逃さない！

高血糖の状態が持続すると、膵臓のインスリン分泌細胞は、常にインスリンを多く分泌せざるをえなくなり、疲弊し、ついにはインスリンを分泌できなくなります。

インスリン製剤で外部から確実にインスリンの不足分を補い、血糖コントロールをすると膵臓の負担が軽くなり、その結果膵臓の分泌能力が回復する場合があります。



高血糖状態で疲弊したすい臓に対して効果が弱くなった飲み薬を使い続けることは、エンジンがオーバーヒートしている車に対してアクセルを踏み続けているようなものです。インスリン製剤を用いるのは、車を止めてエンジンの熱を冷まし、再び車が動けるようにするためです。

日本イーライリリー はじめてのインスリン療法より引用

減塩シリーズ④

今月は、「塩分表記 パート①」です！

塩分に配慮した食品には似たような表記がたくさんあります。意味を理解し、正しく選びましょう。

「塩分控えめ」と「塩味控えめ」は全く意味が違います！！

「塩分控えめ」「うす塩」
塩分が少ないものだけに表記
できます。

食品100g(ml)当り

「食塩相当量0.3g未満」

のものに表記できます。

「塩味控えめ」「うす塩味」

塩分高めのものでも表記

できます。

「味覚」の表現であり、食塩の

含有量を表したものではないので、

塩分量に関係なく表記できます。



言葉は似ているのに全然違いますね！

意味を理解して選ばないと塩分を摂り過ぎてしまいますね。

買い物時に、塩分表記にも注意して合併症予防をしましょう！

(参考文献、引用画像：ヘルシーネットワーク ナビ <https://www.healthynetwork.co.jp/navi/>)